

第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の 実績評価結果

第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年度実績評価一覧(数値目標・KPI)

基本目標1 産業を育て、安定した雇用を創出する

重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)			
						達成率	評価	評価の視点	
①	耕地面積	11,500ha	11,450ha	11,500ha	50ha減少した。	今後も耕地面積維持に努める。	99.6%	A	引き続き農地を守り、維持していく。

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						達成率	評価	評価の視点
(1)本市を支える農業等の維持発展								
①多様な人材の確保及び農地の集積・集約化	新規農業従事者数(後継者含む、人)			新規就農希望者の状況や各農家の農業後継者の有無にもよることから毎年結果が安定しているものではないが、R7年度については目標値を達成しており順調である。	引き続き新規就農フェアへの出展や地域おこし協力隊のPR等を通じ、新規就農希望者の獲得及びU・Iターン者への魅力発信に努める。	160.0%	A	農業従事者の高齢化、減少下において、新規就農者をはじめ多様な人材を確保することは、農業農村の維持のため重要な取り組みであることから、事業を継続していく。
	3	8	5					
②営農条件の積極的な改善と所得の確保	スマート農業機械の導入台数(台、累計)			目標値の達成に向けて着実に推移している。	すでに目標を達成しているが、引き続き導入を促進する。	108.5%	A	農作業の省力化・労力軽減・コスト削減等に資するスマート農業機械の導入を今後も推進していく。
	179	282	260					
③森林の適正管理と林業従事者の育成確保	市有林の整備面積(ha/年)			大面積の更新伐の実施により、目標値を上回っている。	継続して間伐を実施する。	128.0%	A	高齢林分化が進んでいるため継続して間伐・主伐を推進していく。
	7.7	10.24	8.0					
	民有林の整備面積(ha/年)			森林環境譲与税の活用により、間伐面積が増加し目標値を上回っている。	継続して間伐を実施する。	133.8%	A	保育間伐を推進し、二酸化炭素の吸収能力が高い健全な森づくりに取り組む。
130.0	174	130.0						
④有害鳥獣による農業被害への防止	有害鳥獣捕獲頭数(エゾシカ、頭/年)			目標値の達成に向けて順調に推移している。	継続して捕獲活動に従事する。	97.8%	A	個体数の増加に転じないよう継続して捕獲する必要がある。
	465	489	500					
	有害鳥獣捕獲頭数(アライグマ、頭/年)			従事者の増加や捕獲技術向上により目標値を上回っている。	継続して捕獲活動に従事する。	133.3%	A	個体数の増加に転じないよう継続して捕獲する必要がある。
773	1,066	800						

(2) 地域資源を活かしたもののづくり産業の振興								
①地域資源の活用	ふかがわポーク等加工品の販売額 (千円)			目標値の達成に向けて 着実に推移している。	さらなるPR、販売促進に 努める。	71.6%	B	新商品開発、固定客獲得 等、様々な取り組みをお こない、事業を継続して いく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	13,283	16,057	22,415					
②地場産品の海外販路の 開拓	コメ海外輸出量(t)			国内コメ不足及び米価高 騰の状況となり、目標達 成へ向け不透明な状態。	国内のコメをめぐる情勢 の影響を受けるため、単 独での改善は困難。	21.3%	D	国外需要は確実にあり、 コメ輸出は継続して取り 組むもの。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	1,371	352	1,651					
(3) 企業の経営体質強化と商店街づくり								
○商業・サービス業の振興 と中心市街地の活性化	創業支援事業者件数(件/年)			創業支援に関する体制整 備を行っているため、目 標値に達することができ た。	特になし	100.0%	A	商業振興等のためには 創業支援が重要と判断し たため、事業を継続して いく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	1	1	1					
(4) 企業誘致の推進								
○企業誘致の推進	市の支援により工場等を新設及び 増設した企業数(社/5年累計)			工場新設があり目標値の 達成に向けて着実に推移 している。	特になし	66.7%	B	雇用機会の創出等に繋 がるのが重要と判断し たため、事業を継続して いく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	3	2	3					
(5) 労働力の確保								
○雇用の安定と創出	中小企業大学校への研修受講者数 (人/年)			申込がないため目標値に 達することができなかった。	特になし	0.0%	D	雇用の安定を創出するこ とが重要と判断したた め、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	1	0	3					

第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年度実績評価一覧(数値目標・KPI)

基本目標2 本市の魅力を発信し、ひとを呼び込む

重要業績評価指標 (KPI)					KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
		基準値	R7実績値	R11目標値			達成率	評価	評価の視点
②	観光客入込数(万人/年)	年126万人	年121万人	年132万人	全国的に人の動きが活発化し、観光客が分散したことに伴い、目標値に達しなかった。	特になし	91.7%	A	観光振興を通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。
③	移住件数(件/年)	年29件	年19件	年30件	道外の各種移住相談会への出展やオンラインセミナーの開催など、移住希望者との接点を確保・拡大する取り組みを継続して実施したものの、住宅取得費用の上昇などにより、移住希望者の検討期間が長期化する傾向が見られ、移住件数は目標値に達しなかった。	これまでに構築した相談者との関係性を活かしつつ、より具体的な移住・定住支援につながる情報発信やフォローアップ体制の充実を図り、移住件数の増加を目指す。	63.3%	B	移住・定住の推進により市外からひとを呼び込む取り組みは重要と判断し、事業を継続していく。

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)							
						達成率	評価	評価の視点					
(1)移住・定住の推進													
○移住・定住の推進	移住相談会・セミナー開催数 (他団体開催イベント参加数含む、 回/年)			道外の各種移住相談会 への出展のほか、オンラ インセミナーを開催し移住 希望者との接点を増やす 取り組み等に注力した結 果、目標値を達成した。	特になし	133.3%	A	移住・定住の推進により 市外からひとを呼び込む 取り組みは重要と判断 し、事業を継続していく。					
									基準値	R7実績値	R11目標値		
	9	12	9										
	直近5年に任期終了した地域おこし協 力隊員の定住率(%)								任期中の活動を通じて地 域との関係性を構築し、 一定数の隊員が定住して いる状況にあるが、目標 の達成には至らなかつ た。	定住率向上に向けて、引 き続き隊員の活動や生活 面のフォローに取り組む。	90.7%	A	移住・定住の推進のほか 地域の活性化に資する重 要な取り組みと判断し、 事業を継続していく。
	16.6	51.9	57.2										

(2)関係人口の創出・拡大								
○関係人口の創出・拡大	都市農村交流センターの利用者数 (うち浴場利用者数、人/年)			地元農産物を使用した加工体験や「まあぶフェスタ」等各種イベントの実施により一定数の利用者数となったが、目標の達成には至らなかった。	利用者拡大に向け、更なるPRを行う	99.3%	A	関係人口の創出・拡大に関する取り組みの重要性が増していることから、今後も継続事業としていく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	137,554 (112,773)	139,069 (113,585)	140,000 (115,000)					
	地域資源を活用したふるさと会等の団体数(団体/年)			地域資源を活かした交流活動や情報発信の取り組みを継続的に支援した結果、目標値を達成した。	特になし	100.0%	A	ふるさと会等との交流機会の充実は、関係人口の創出・拡大に関わる重要な取り組みと判断し、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	3	3	3					
	ふるさと納税寄附件数(件/年)			市場において主力返礼品である米の需要の落ち着いたことに伴い、目標値に達しなかった。	返礼品の多角化と戦略的なプロモーションの展開による、新たな寄附層の開拓。	57.5%	C	ふるさと納税を通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	38,440	34,489	60,000					

(3)観光・スポーツ・文化などを通じた交流人口等の拡大								
①観光資源の開発整備と交流の促進	道の駅ライスランドふかがわの来館者数(万人/年)			全国的に人の動きが活発化し、観光客が分散したことにより、目標値に達しなかった。	特になし	95.3%	A	観光振興を通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	98.8	95.3	100					
②スポーツ・文化・芸術を核とした交流の推進	実業団や大学等のスポーツ合宿の延宿泊数(泊/年)			継続的な誘致活動と受入対応により、リピーターの合宿チーム確保および新規合宿チームの獲得につながり、目標値を達成した。	実績増に向けて冬期間の合宿チーム確保が課題であり、継続的なPR活動を実施する必要がある。	121.8%	A	市の知名度向上や交流人口・関係人口施策として効果的な事業であることから、実績増を目指して取り組みを継続する。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	16,872	15,225	12,500					

(4)地域資源を活用した情報発信								
○地域資源を活用した情報発信	ふるさと納税寄附件数(再掲、件/年)			(再掲)				
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	38,440	34,489	60,000					
	都市部での特産品PR回数(回/年)			全国の百貨店や大型ショッピングモール等において、本市の特産品である米やシードルのPRをすることで、目標値に達した。	特になし	173.3%	A	地域資源を活用した特産品PRを通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	8	26	15					

第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年度実績評価一覧(数値目標・KPI)

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R7実績値	R11目標値	KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						達成率	評価	評価の視点
④ 合計特殊出生率	1.28	1.29	1.50	複合的な要因のため達成状況の判断は困難。	引き続き子育て支援の取り組みを行う。	86.0%	B	施策との関係性を一義的に判断することは困難。

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						達成率	評価	評価の視点
(1) 男女の出会いをつくる								
○出会いの創出	婚姻件数(5年間累計、件)			結婚新生活支援助成を 実施したが、目標値には 達しなかった。	出会いの創出に係る事業 の実施を検討する。	85.0%	B	人口減少下において、出 会いを創出し婚姻につな げる重要な取組みと判断 し、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	249	221	260					
(2) 子育て支援の充実								
①妊娠・出産までの支援	保健師による新生児訪問率(%)			訪問を希望しない家庭が あり、目標値を下回った。	特になし	96.2%	A	妊娠時から切れ目ない支 援を継続し、出産後の安 心した子育て支援体制づ くりにつながる重要な取 組みと判断し、事業を継 続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	100	96.2	100					
	出生数(人/年)			目標値に達することがで きた。	特になし	115.7%	A	今後も妊娠時からの切れ 目ない支援を継続してい く。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	69	81	70					
②子育て支援体制・環境の 整備	乳幼児健康診査の受診率(%)			目標値を若干下回った が、継続した実施により、 安心した子育て支援体制 づくりに繋がっていると考 えられる。	特になし	98.9%	A	健康診査を通して子育て 支援体制・環境の整備を 行うことが、重要取組に 繋がっていると判断し、事 業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	98.6	98.9	100					
	待機児童			施設面では目標達成が 可能な状況。	保育士等の安定確保が 必要。	100.0%	A	引き続き、保育士等の人 材確保に努める。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	なし	なし	継続					
	0歳児保護者の子育て支援アプリ 登録率(%)			子育て支援を必要とする 保護者に有効に活用され ていると考えられる。	引き続きアプリ登録率の 向上に取り組むを行う。	64.5%	B	アプリ登録率の向上を行 う必要がある。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	100	64.5	100					

③高校生までの医療費無償化	高校生等の受給者数(人/年)			少子化の影響により、目標値には達しなかった。	特になし	93.3%	A	健康で活力のある地域社会形成のための子育て支援として、重要な取り組みと判断し今後も事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	319	280	300					
(3) 周産期医療の提供体制等の確保								
○産婦人科常勤医師の確保等	市立病院に勤務する産婦人科常勤医師数(人)			医師数減少や3次医療圏の周産期センター等への集約化もあり常勤医師獲得が難しい状況。	引き続き、道内医育大学等への常勤医師派遣に要請を行う。	0.0%	D	北海道地域医療構想における医療体制整備の考え方や周産期センターとの連携などを踏まえると市立病院単独の取り組みの評価は難しいが数値上の評価とした。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	0	0	1	令和7年度については目標値を上回った。	従来の短時間型(1時間)に加えて3時間型を追加し利用者ニーズの拡大を図る。	113.8%	A	左記のとおり3時間型を令和8年度より導入したが出生数の減少を踏まえ目標値はこれまでと同数とした。
	産後ケア・育児サポート事業利用者数(人/年)							
	基準値	R7実績値	R11目標値					
240	273	240						
(4) 仕事と子育てを両立できる環境づくり								
○仕事と子育ての両立支援	病児・病後児保育の利用人数(人/年)			有効に活用されていると考えられる。	引き続き病児・病後児保育の利用に向けた取り組みを行う。	42.6%	C	病児・病後児保育の利用に向けた取り組みを行う必要がある。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	19	52	122					

第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年度実績評価一覧(数値目標・KPI)

基本目標4 「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」まちをつくる

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R7実績値	R11目標値	KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						達成率	評価	評価の視点
⑤ 住みやすいまちと感じている人の割合	44.1%	—	70.0%	R7実績なし 次回はR11年実施	—	—	—	—

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)				
				達成率	評価	評価の視点		
(1)住環境の整備								
①コンパクトなまちづくりと住環境の整備	持ち家住宅新築件数(件/5年間累計) ※基準値は1年	建築基準法等の改正や建設費高騰で建設数が減少し、基準値を達成できなかった。	建築基準法等の改正や建設費高騰により、建設数が減少している。建設を促進するための検討が必要。	26.0%	D	引き続き制度周知に努めるほか、持ち家住宅の建設促進のため、住宅助成事業を継続的に取り組みたい。		
	基準値						R7実績値	R11目標値
	27						26	100
	②狭あい私道等の整備	狭あい私道拡幅促進事業による道路整備(km/累計)	沿線住民の要望通り、狭あい私道を市道認定することができ、年ごとの目標も達成した。	特になし	71.4%	B	引き続き制度周知に努め、狭あい私道の市道化を図る。	
基準値		R7実績値						R11目標値
0.8		1.0						1.4
道路整備事業助成による道路整備(km/累計)		地域住民団体の申請が1件(50m)で、基準値を下回ったため達成できなかった。	地域住民団体からの整備要望に対し、助成制度の活用を軸とした前向きな検討案を説明する。	3.8%	D	引き続き制度周知に努めていく。		
基準値							R7実績値	R11目標値
0.8							0.05	1.3
③バリアフリー化の推進	無電柱化路線(km/累計)	おおそ予定どおり進捗しており、目標を達成した。	特になし	75.0%	B	引き続き北海道へ早期の整備完了へ向け、要望を行っていく。		
	基準値						R7実績値	R11目標値
	1.6						1.8	2.4
(2)雪国の快適な生活環境づくり								
①個人住宅の除排雪サービス	門口・通路除雪の相談対応件数(件/年)	除雪ニーズの実態として、門口・通路区分が大半を占める。	制度定着に向けて、水道減免申請書の案内併記など、コストを抑えながら周知を図る。	166.3%	A	制度理解を深めていただくため、利用者に分かり易い案内や丁寧な説明を行う。		
	基準値						R7実績値	R11目標値
	86						133	80
	家周り等除雪の相談対応件数(件/年)	除雪区分として、シーズン契約の門口・通路とスポット除雪の家周りなど、申請者により混同されがちであった。	門口関係の助成利用者向けに、家屋によっては家周り助成可など、申請時に案内展開を行う。	15.7%	D	環境変化に対応すべく、定期的な適用条件の見直し検討を行う。		
	基準値						R7実績値	R11目標値
	312						47	300
②除排雪作業体制の確保	市道の除排雪路線(km)	基準値を達成した。	特になし	100.0%	A	引き続き冬期間の生活道路の円滑な交通確保に取り組む。		
	基準値						R7実績値	R11目標値
	385						385	385

(3) 公共交通の確保								
○市民の交通手段の確保	高齢者バス利用料金助成事業 新規登録者数(人/年)			基準値を達成した。	引き続き本事業の活用推進を勧めていく。	193.3%	A	バスを利用している者や今後バスの利用を希望している者に対して引き続き事業の周知を行う。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	51	58	30					
(4) 安心を支える健康・医療・介護施策の充実								
①健康づくりの推進と疾病予防	特定健康診査の受診率(%)			新たに市の公式LINEを活用した予約申込みも開始したが、目標値に達することが出来なかった。	新たに実現可能な勧奨・予約方法がないか検討する。	53.7%	C	健康づくりの推進と疾病予防を行っていく上で、特定健康診査受診して貰うことが重要と判断し、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	30.3	32.2	60.0					
②深川市立病院における安定的な医療提供体制の確保	経営の安定化(資金不足比率=資金不足額/偉業収益)			令和7年度においては20%を下回った。(数値未確定)	引き続き収支改善と計画的・安定的経営に努める。	100.0%	A	現時点(R8.5.11)での資金不足比率は未確定のため経営健全化団体認定未満の20%とした。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	なし	20%未満	20%未満					
	総合診療専門医・家庭医療専門医数(人)			令和7年度に総合診療専門医が1名追加となり3名体制となった。	専門医を育成する総合診療プログラムを充実させるとともに指導医育成についても取り組む必要がある。	37.5%	D	評価はDであるが専門医資格取得に3年かかることや連携施設の確保・研修期間の人員減などの課題があるため数値評価は難しい。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	5	3	8					
③深川市立病院におけるDXの推進	生成AI活用によるオンライン問診			令和8年度導入に向けサービス提供事業者と令和7年度に契約済。	当初は小児科から開始し内科・救急外来等へ拡大予定。	80.0%	B	一部外来科の導入のため80%としたが、高齢者等への対応は導入後の検討事項であり一部導入が今後100%となる可能性もあり。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	未導入	導入	導入					
	スマホアプリによる時間短縮・混雑緩和			診療順番案内や後払サービス提供事業者の説明を受けるなどの調査は行ったが導入には至らなかった。	引き続きサービス提供内容の状況を見極め導入を検討していく。	0.0%	D	患者の利便性の向上のため引き続き検討が必要だが、増加するDX関連委託料と経営状況の見極めも必要。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	未導入	未導入	導入					
④介護予防と地域の支え合い体制の推進	介護予防サポーター養成講座の受講者数(人/年)			広里・音江地区の市民を対象に3回実施し、45名の参加があった。基準値を達成した。	引き続き本事業を通して、介護予防と地域の支え合い体制を推進していく。	300.0%	A	介護予防と地域の支え合い体制の推進に向けて、本事業を継続する。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	23	45	15					

(5) 未来を担う人づくり								
①人材の育成	人材育成事業を活用した研修等の参加者数(人/年)			研修や交流事業などの参加者を対象に助成を行った結果、目標を達成した。	特になし	640.0%	A	活力と魅力に満ちたまちづくりの推進に資する重要な取組みと判断し、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	5	64	10以上					
②小中学校児童生徒の学力向上等への取組み	全国学力・学習状況調査における 深川市平均正答率と 全国平均正答率の比較			4教科中1教科が全国平均と同程度となり、3教科が下回った。	家庭学習でクラウドを活用した予習や振り返りを行うなど、授業と家庭学習が繋がる取組を行う。	0.0%	D	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する全国的な学力調査が行われているため、目標値達成に向け、改善点に挙げた項目等に取り組んでいく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	国語(小学校)							
	下回る	下回る	上回る					
	算数(小学校)							
	下回る	同程度	上回る					
	国語(中学校)							
	上回る	下回る	上回る					
	数学(中学校)							
下回る	下回る	上回る						
③地域に根差した教育の推進(小・中学校、高校、短大)	市内の高校数			市内の高校数は3校を維持した。	高校の魅力づくりを充実させ、学生の確保に努める。	100.0%	A	高校数の現状維持に向けて各種支援の拡充・継続を図る。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	3校	現状維持	現状維持					
④生涯学習の充実	生涯学習出前講座の開催回数(回/年)			基準値を下回ったが、周知媒体を刷新し前年実績(19回)から大きく増加した。	出前講座の認知向上を図るため、効果的な周知を継続する。	75.0%	B	市政に対する理解の向上と、学習機会の充実、意識の高揚を図る。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	29	27	36					
(6) 防災などの暮らしの安全								
○地域防災の推進	自主防災組織率(%)			R7中の組織化ができなかったとともに人口減少に伴う世帯数減少により組織率が低下してしまった。	組織率向上に向けた広報活動を行う。	68.6%	B	自主防災組織率向上に努める。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	37.1	34.3	50.0					
	無電柱化路線(再掲、km/累計)			(再掲)				
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	1.6	1.8	2.4					
(7) カーボンニュートラルの推進								
○カーボンニュートラルの推進	市が事業所として排出するCO2排出量(t-CO2)			目標達成に向け順調に推移している。 ※R6実績値(最新)	全庁的な省エネ対策を継続的に推進する。	69.4%	B	2050年のカーボンニュートラル達成に向けて関係施策を継続的に推進する必要がある
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	9,892	9,780	6,790					

(8) デジタル技術を活用した市民生活の質の向上								
①行政サービスの効率的なデジタル化	コンビニ交付による証明書発行件数 (件/年)			目標達成に向け順調に推移している。	特になし	93.7%	A	発行件数は概ね順調に推移している。今後もコンビニでの証明書発行を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	181	2,154	2,300					
②公式LINEアプリを活用した情報発信	公式LINE登録者数(5年間累計、人)			目標達成に向け順調に推移している。	今後とも市広報紙等を活用し、LINE登録者数の増加を図る。	68.7%	B	目標値推移中
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	2,000	2,576	3,750					
③デジタル技術を活用した高齢者の健康づくり・介護予防	高齢者層の公式LINE登録者数 (5年間累計、人)			基準値を超える登録があった。	引き続き、介護予防教室参加時などの機会を活用し、LINE登録を勧めていく。	96.3%	A	健康づくり・介護予防教室などの案内を効率的に行えるよう引き続きLINE登録を勧めていく
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	259	366	380					
④デジタル技術を活用した行政運営の効率性・効果性の向上および地域課題の解決	効率性・効果性が向上した行政サービス(事業/累計)			令和7年度においては実績がなかった。	引き続き、効率性・効果性向上を目指す。	0.0%	D	デジタル技術を活用した行政運営の効率性・効果性の向上および地域課題の解決に努めていく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	0	0	1					
	未来技術の活用により解決・改善した地域課題(事業/累計)			令和7年度においては実績がなかった。	引き続き、未来技術の活用により解決・改善を目指す。	0.0%	D	デジタル技術を活用した行政運営の効率性・効果性の向上および地域課題の解決に努めていく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	0	0	3					
(9) 広域連携の推進								
○北空知圏域をはじめとする広域連携の推進	広域連携による事務事業数 (事業/累計)			広域連携を推進した結果、目標値に達することができた。	令和10年度からの次期北空知定住自立圏共生ビジョンの計画改訂に向け成果指標(KPI)を見定めていく。	100.0%	A	人口減少下においては、地域の持つ様々な資源を有効活用することが重要と判断し、事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	25	25	25					